

《渋滞ピーク時間帯の回避効果》

過去の所要時間の実績で、通過時刻により所要時間が短縮される事例をご紹介します。移動される時間帯をずらしていただくことで渋滞を避けることができ、所要時間の短縮が可能でした。

■例えば、2022年1月3日(月・祝)に、E1 東名高速道路(上り線)の静岡 IC から東京 IC まで利用された場合、**静岡 IC の通過時刻を 16 時から 8 時に変更することにより、『1 時間 30 分以上』の所要時間の短縮が可能でした。**



静岡IC通過時刻	東京ICまでの所要時間	最大所要時間との差
通常時※	約1時間43分	—
7	約1時間43分	1時間以上
8	約1時間43分	1時間以上
9	約1時間51分	1時間以上
10	約1時間59分	1時間以上
11	約2時間16分	1時間以上
12	約2時間17分	約1時間
13	約2時間22分	約50分
14	約2時間49分	約30分
15	約2時間58分	約20分
16	約3時間16分	最大所要時間

※通常時とは、渋滞など発生しておらず順調走行時の所要時間をいう。

《渋滞ピーク時間帯の回避事例》

期間中に、特に長い渋滞が予測されている渋滞の回避事例をご紹介します。移動される時間帯をずらしていただくことで渋滞を避けることができます。

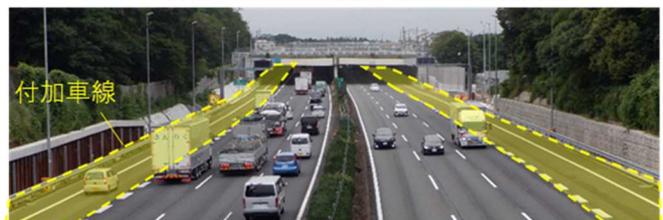
■1月3日(火) E1 東名高速道路(上り線) 綾瀬 SIC 付近を先頭とする渋滞[最大55km]

- ◆ 御殿場IC ⇒ 横浜町田IC区間を走行する場合、渋滞のピークは16～20時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約2時間25分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 御殿場ICを10時以前または23時以降に通過する場合の所要時間は約45分程度と予測しており、これらの時間帯の利用をおすすめします。



渋滞回避のため付加車線を活用ください!

2021年7月に完成した大和TN付近の付加車線



◆ 渋滞原因: 付加車線合流部

綾瀬SICからの加速・付加車線の合流部において、車線数の減少に伴う速度低下により渋滞が発生します。合流部付近では、お互いにゆずり合ってくださいスムーズな合流にご協力をお願いします。